

老朽化対策の課題整理

1. 既存の施設の問題点に対処すべき事項

① 高潮などの災害対策について

<考慮事項>

千葉療護センターが位置する場所は、千葉県の「高潮浸水想定区域図」（H30年公表）によると高潮による浸水は水深「1～3 m」が最大「12時間未満」生じる可能性がある。なお、高潮以外の地震や風水害によるリスクはハザードマップ上想定されていない。

1. 既存の施設の問題点に対処すべき事項

② 新型コロナウイルス等感染症対策について

<考慮事項>

千葉療護センターを含む11の療護施設においては、家族面会の原則禁止など厳しい感染症対策を講じてきた。今後、面会の再開などウィズコロナ等感染症と向き合う必要がある。

また、療護施設は絶えず看護師等の目配りができるよう病床間の仕切りを最小限とした開放的なワンフロア病棟システムを採用しているが、今後、開放的な環境における感染症対策が必要となっている。

1. 既存の施設の問題点に対処すべき事項

③ 患者のプライバシー確保について

<考慮事項>

ワンフロア病棟システムは、絶えず看護師等の目配りができるなどのメリットがある一方で、ナスバスコアが改善した患者に対して、病室や日中活動する場所におけるプライバシーへの配慮を行う必要がある。

1. 既存の施設の問題点に対処すべき事項

④ 施設の老朽化対策における注意点

<考慮事項>

西棟（50病床）が昭和59年竣工・平成4年増築、MRI棟が平成3年・平成4年増築、東棟（30病床）が平成17年増築。西棟が最も老朽化が進んでいるが、病棟が西棟と東棟に分かれて存在しており、西棟だけを老朽化対策の対象とすることはできない。

2. コンセプトの刷新が必要とされる事項

① 長期入院におけるリハビリの充実について

② 退院後のリハビリについて（短期入院・中期入院）

2. コンセプトの刷新が必要とされる事項

③ 外来患者の受入れについて

④ 患者の家族など介護者等へのケアについて